

農商工等連携事業事例集

～それぞれの強みを活かしてWIN-WIN～



令和2年3月
 九州経済産業局 産業部 農林水産業成長産業化支援室



■はじめに

経済産業省では、中小企業の経営の向上及び農林漁業経営の改善を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを目的として、中小企業者と農林漁業者とが有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用して行う事業計画（農商工等連携事業計画）を認定しています。認定後は各種支援策を活用することができます。

認定事業計画の事例をとりまとめましたので、事業計画立案にご活用いただけますと幸いです。

■目次

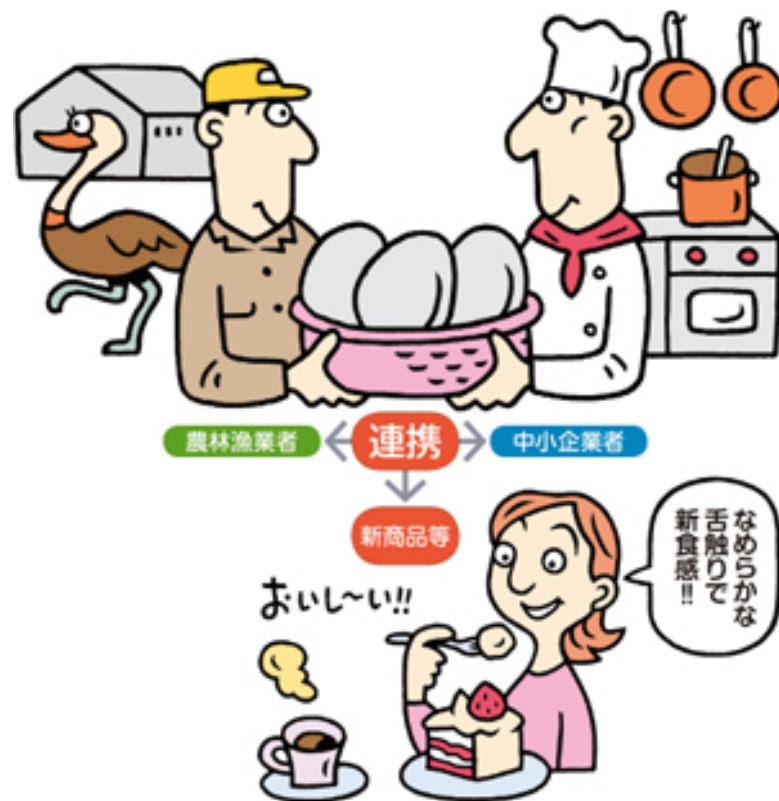
1. 農商工等連携事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 事業計画認定までの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3. 認定事業計画への具体的支援措置・・・・・・・・	5
4. 補助金の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	6
5. 法認定の状況（認定事業計画一覧）・・・・・・	8
6. 活用事例・・・・・・・・・・・・・・・・	14
7. 関連情報・・・・・・・・・・・・・・・・	23

■ 農商工連携とは

農商工連携とは

「農林漁業者と商工業者等が通常の商取引関係を超えて協力し、お互いの強みを活かして売れる新商品・新サービスの開発、生産等を行い、需要の開拓を行うこと」です。

すなわち、これまで農林漁業者だけ、商工業等を営む中小企業者だけでは開発・生産することが難しかった商品・サービスを両者が協力し合うことで創り出し、市場で販売していくことで、売上げや利益の増加を目指そうとする取り組みのことです。



■ 支援対象者（中小企業者の定義）

（１）中小企業者として対象となる会社と個人

会社、個人（主たる事業として営んでいる業種）	資本金基準	従業員基準
製造業、建設業、運輸業など	3億円以下	又は 300人以下
ゴム製品製造業の一部	3億円以下	又は 900人以下
卸売業	1億円以下	又は 100人以下
小売業	5千万円以下	又は 50人以下
サービス業（下記以外）	5千万円以下	又は 100人以下
ソフトウェア業・情報処理サービス業	3億円以下	又は 300人以下
旅館業	5千万円以下	又は 200人以下

（２）中小企業者として対象となる組合及び連合会

組合及び連合会			対象となる要件
農商工連携	地域資源活用	新連携	
企業組合、協業組合、事業協同組合、事業協同小組合、協同組合連合会、水産加工業協同組合、水産加工業協同組合連合会、商工組合、商工組合連合会、商店街振興組合、商店街振興組合連合会			特になし
農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人、漁業協同組合、漁業協同組合連合会、森林組合、森林組合連合会			
消費生活協同組合、消費生活協同組合連合会			
生活衛生同業組合、生活衛生同業小組合、生活衛生同業組合連合会、酒造組合、酒造組合連合会、酒造組合中央会、酒販組合、酒販組合連合会、酒販組合中央会			直接または間接 構成員の2/3 以上が(1)に示す 中小企業者で あること
		内航海運組合、 内航海運組合連合会	
鉱工業技術研究組合			

■ 認定要件

	農商工連携事業
根 拠 法	農商工等連携促進法
事業主体	農林漁業者と中小企業者（共同）
計画期間	5年以内
事業内容	●新商品の開発、生産又は需要の開拓 ●新サービスの開発、提供又は需要の開拓
その他の 評価基準	1. 中小企業者と農林漁業者が有機的に連携して実施する事業であること （連携事業期間を通じて、両者いずれもが主体的な参画をし、規約などにより明確化した役割分担のもと実施する事業であること） 2. 中小企業者及び農林漁業者のそれぞれの経営資源を有効に活用したものであること （経営資源を活用した双方の工夫を凝らした取組が必要） 3. 新商品の開発、生産若しくは需要の開拓又は新役務の開発、提供若しくは需要の開拓を行うものであること 4. 中小企業の経営の向上及び農林漁業経営の改善が図られること （両者の付加価値額及び中小企業者は総売上高、農林漁業者は農商工等連携事業に係る農産物等の売上高が年率1%以上増加すること）

■事業計画認定までの流れ

事業計画の発案・企画、連携調整（事業者）

- ・農林漁業者、中小企業者による発案・企画
- ・必要に応じて、有機的な連携や共同申請に向けた連絡調整

有機的な連携体の構築

相談（事業者 ⇒
九州経済産業局、九州農政局、中小機構、商工団体等）
※随時受付

- ・事業計画の具体化に関する相談
- ・事業計画の主旨、体制、計画等の申請要件の確認
- ・支援制度の説明

■申請（申請者 ⇒（申請先）九州経済産業局または九州農政局）

■評価委員会（申請者プレゼン⇒外部有識者）

- ・申請事業者によるプレゼン
- ・外部有識者の評価委員による事業計画の評価

■認定（九州経済産業局、九州農政局、共管省庁）⇒認定書交付・公表

- ・認定後、事業者は支援制度等を活用し事業計画を実施

認定スケジュール （年度毎に日付は決定）

事務局	第1回	第2回
各 機 関 で 対 応	～8月	～12月
九 州 経 済 産 業 局	8月	12月
	9月	1月
	10月	2月

【制度融資等支援施策の活用】

■認定事業計画への具体的支援措置

補助金	■JAPANブランド育成支援等事業 ※計画認定に紐づく補助金ではありません 全国展開や海外展開、インバウンド需要の獲得のために、新商品・サービス開発や販路開拓・ブランディング等の取組を中小企業者等が行う場合や、複数の中小企業者を対象とした全国展開や海外展開、インバウンド需要の獲得のための支援を、中小企業者や地域の支援機関等が行う場合に、その経費の一部を補助します。 ・補助上限額：全国・海外展開等事業 500万円（連携体の場合、1社ごとに500万円上限額高上。上限2,000万円） ：全国・海外展開等サポート事業 2,000万円 ・補助率：2/3以内（1,2回目） 1/2以内（3回目） ■食料産業・6次産業化交付金のうち6次産業化施設整備事業 農林漁業者等と連携する中小企業者が制度資金等の融資等を活用して行う、食品等の加工・販売のために必要な機械・施設の整備に係る経費について活用可能です。 ・交付金上限額：1億円（重点支援分野に該当する場合は2億円） ・交付率：3/10以内（実施要綱に定められた要件を満たす場合は1/2以内） 問い合わせ先：九州経済産業局 問い合わせ先：九州農政局
融 資	■政府系金融機関による融資制度 認定を受けた事業計画に基づく設備資金及び運転資金について、政府系金融機関が優遇金利で融資を行います。 問い合わせ先：株式会社日本政策金融公庫の各支店 ■農業改良資金通法、林業・木材産業改善資金助成法、沿岸漁業改善資金助成法の特例 中小企業者が、農林漁業者の行う農業改良措置等を支援する場合に農業改良資金等（無利子）の貸付を受けることができます。また、当該資金の償還期間及び措置期間を延長します。 問い合わせ先：【農業改良資金】株式会社日本政策金融公庫（農林水産事業本部） 【林業・木材産業改善資金】各県林業・木材産業改善資金担当課 【沿岸漁業改善資金】各県沿岸漁業改善資金担当課
信用保証	■信用保証の特例 中小企業者が金融機関から融資を受ける際、信用保証協会が債務保証をする制度で、中小企業者は次の措置を受けることができます。 ※普通保証等の別枠設定 普通保証2億円、無担保保証8,000万円、特別小口保証1,250万円、流動資産担保融資保証 2 億円に加えて、それぞれ別枠で同額の保証を受けることができます。 ※新事業開拓保証の限度枠拡大 新事業開拓保証の限度額が2 億円から4 億円（組合4 億円から6 億円）に拡大されます。 問い合わせ先：各県信用保証協会 ■食品流通構造改善促進法の特例 食品の製造等の事業を行う中小企業者が金融機関から融資を受ける際、食品流通構造改善促進機構が債務保証等をする制度で、食品の製造等の事業を行う中小企業者は、当該認定事業に必要な資金の借りに係る債務の保証等を受けることができます。問い合わせ先: 財団法人食品流通構造改善促進機構構造改善部
海外展開に伴う資金調達支援	（海外現地子会社等の資金調達円滑化） ■株式会社日本政策金融公庫法の特例 中小企業者が、海外現地子会社等と共同して海外展開に取り組む場合、日本政策金融公庫が海外現地金融機関の長期融資に対して債務保証を行うことにより、海外子会社等は現地通貨等外貨建てでの資金調達支援を受けられます。 ※保証限度額は一保証先につき4. 5億円以下 問い合わせ先：株式会社日本政策金融公庫（中小企業事業） （海外展開のための国内における資金調達支援） ■中小企業信用保険法の特例 中小企業者が、海外直接投資事業に要する資金について国内金融機関からの融資を受ける際、信用保証協会が債務保証を行う制度である海外投資関係保険の保証限度額が2億円から4億円（組合は4億円から6億円）に拡大されます。 問い合わせ先：各県信用保証協会

J A P A Nブランド育成支援等事業

※内容は令和2年度のものです

	全国・海外展開等事業	全国・海外展開等サポート事業
制度の目的	全国展開や海外展開、インバウンド需要の獲得のために、新商品・サービス開発や販路開拓・ブランディング等の取組を中小企業者等が行う場合や、複数の中小企業者を対象とした全国展開や海外展開、インバウンド需要の獲得のための支援を、中小企業者や地域の支援機関等が行う場合に、その経費の一部を補助することにより、地域中小企業の全国・海外への販路開拓、ブランド確立を図るとともに、地域経済の活性化及び地域中小企業の振興に寄与することを目的としています。	
事業概要	中小企業者等が、市場ニーズを捉えながら優れた素材や技術等を活かした製品やサービスの魅力を高め、国内さらには海外のマーケットで通用する商品力・ブランド力の確立やインバウンド需要の獲得のため、市場調査、専門家招聘、新商品・デザイン開発及び評価、展示会出展等を実施する事業	ア. 案件化調査事業 地域の支援機関が中心的な役割を担い、地域中小企業の新商品・サービスの開発やその全国展開・海外展開に向けた事業の計画立案に係る調査研究を行う事業。 イ. 販路開拓等サポート事業 中小企業者や地域の支援機関等が行う、複数の中小企業者を対象とした全国・海外への販路開拓に向けた新商品・サービス開発やインバウンド需要の獲得に向けた支援を行う事業
補助対象者	中小企業、商工会、商工会議所、組合、NPO法人 等	
支援内容	●補助上限額： 500万円（連携体の場合、1社ごとに500万円上限額嵩上。上限2,000万円） ●補助率： 2／3以内（1、2回目） 1／2以内（3回目）	●補助上限額： 2,000万円 ●補助率： 2／3以内（1、2回目） 1／2以内（3回目）
公募スケジュール	2月～3月頃	
お問い合わせ先	九州経済産業局 産業部 経営支援課 TEL 092-482-5491	

■補助金

～ 補助対象経費 ～

経費区分	経費内容
事業費	①謝金
	②旅費
	③借損料
	④通訳・翻訳費
	⑤マーケティング調査費
	⑥通信運搬費
	⑦雑役務費
	⑧産業財産権等取得等費
	⑨展示会等出展費（展示会等出展に伴う会場借料、備品費、商品搬送費及び保険料を含む。）
	⑩広報費
	⑪会議費
試作品等開発費	⑮委託費等
	③借損料
	⑫原材料等費
	⑬機器・設備等費
	⑭設計・デザイン費
	⑮委託費等

■法認定の状況

これまで九州において86件（全国812件）の「農商工等連携事業計画」を認定。（令和2年2月14日現在）

佐賀冷凍食品株式会社（小城市）
地元産米と新鮮具材を使用した冷凍おにぎりの商品開発と販路開拓
（認定日：平成21年6月29日）



株式会社フジコー（北九州市）
子豚育成率向上を助ける光触媒空気浄化装置を用いた豚舎の開発、製造及び販売
（認定日：平成31年2月8日）

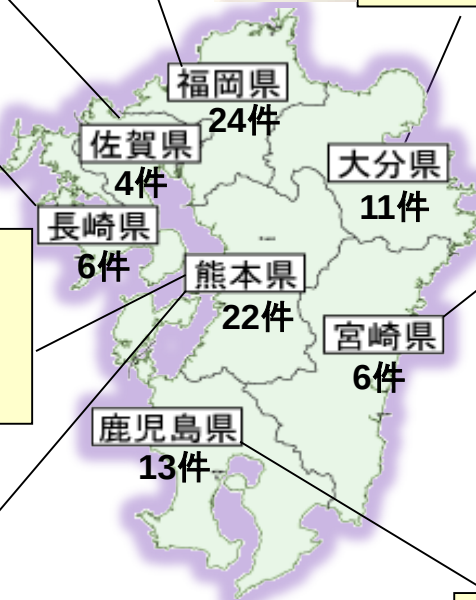


株式会社須崎屋（南島原市）
超濃厚鶏卵を使ったプレミアム五三焼カステラ開発・販売事業
（認定日：平成31年2月8日）



株式会社豊後大野クラスター（豊後大野市）
高糖度かんしょ「べにはるか」の規格外品を活用した、ペースト、パウダー等介護・医療向け食品の開発・販路開拓
（認定日：平成25年10月16日）

株式会社熊本アイディーエム（合志市）
大葉の選別品質の均一化と省力化をはかる高性能自動選別システムの開発並びに製造販売
（認定日：平成31年2月8日）



宮崎ひでじビール株式会社（延岡市）
宮崎県産ホップ、麦芽を使用したオール宮崎産ビール、発泡酒の開発・販路開拓
（認定日：平成29年2月3日）



株式会社果実堂テクノロジー（益城町）
IoTの活用による自動環境制御・耐風雪圧設計の農業用高機能ハウスの開発・販売事業
（認定日：平成29年2月3日）



株式会社オキス（鹿屋市）
芋麴用「乾燥サツマイモダイス」や「大隅の農産物を活用した乾燥粉末」の開発と販路開拓
（認定日：平成21年2月20日）



認定事業計画一覧

①

※分類は14ページ参照 平成21年6月29日認定分より分類

	都道府県	企業名(代表申請者)	共同申請者	事業名	※分類	認定日	終了日
1	福岡県	(株)元山	右田果樹園 上野愛果園 みやま農園	未利用柿を活用した機能性食品素材の開発及び需要の開拓		H20.9.19	H25.9.30
2	福岡県	出萌(株)	小松共同機械利用組合 (有)ベネフィット	国産小粒大豆を原材料とした発芽野菜(モヤシ)の生産加工並びに用途販路拡大		H21.2.20	H26.3.31
3	福岡県	(株)ルネサンス・プロジェクト	(有)ヨコオ牧場 村岡酪農	佐賀県脊振高原産の牛乳によるフレッシュキャラメル等高付加価値型乳製品の開発と市場の開拓	④	H21.6.29	H25.9.30
4	福岡県	(株)イーエム	(株)平越商店 阿部 靖治	「夏ふぐ」を有効活用した新商品開発・販路開拓及び「夏ふぐ」のブランド化	④	H21.10.22	H25.7.31
5	福岡県	(有)九州酢造	峰石園	山ぶどうを原料とした醸造酢及び「飲む酢山ぶどう」などの加工品の開発及び販路開拓	③	H22.1.29	H27.3.31
6	福岡県	(有)金子植物苑	池上農園 (農)ホワイトベリー	国内ではじめて生産から加工まで行うパニラビーンズの試作、開発および販路開拓	③	H23.2.2	H28.3.31
7	福岡県	大村湾水産加工品販売(株)	JF大村湾	大村湾産ナマコを用いた新規スキнка・ヘアケア商品の開発および販売	④	H23.2.2	H26.7.31
8	福岡県	(株)西日本冷蔵	日野養鰻所	シャコを飼料に活用した高付加価値うなぎの生産と加工製品等の開発及び販路開拓	③	H23.2.2	H28.3.31
9	福岡県	オフィスY&Y	(名)まるはら JAあまみ与論事業本部	奄美諸島の熱帯果実を利用した清涼飲料とドレッシングの開発及び販路開拓	①	H23.2.2	H28.3.31
10	福岡県	京食品(株)	(株)臼杵養鶏場	介護食市場などに向けた、硬さの調整が出来る卵焼きペーストの試作・開発・販路開拓	①	H23.9.30	H28.8.31
11	福岡県	ニシモト食品(株)	JA福岡八女矢部村葉わさび研究会	九州産葉わさびの特殊カット技術による商品の開発及び販売	④	H23.9.30	H28.2.29
12	福岡県	(有)自然薯王国	(株)那須自然農園	自然薯及びその他の山芋を使ったとろろ商品の開発及び販売	④	H24.2.3	H29.1.31
13	福岡県	(有)フローラ美工	高木農園	八女の農家と初めて取り組む国産ベチバーを活用した消臭剤等の開発及び販売	③	H25.7.8	H30.6.30
14	福岡県	(株)オリーブジャパン	(同)九州オリーブファーム	国産オリーブオイルとオリーブを活用した化粧品・健康食品等の商品化	③	H25.10.16	H30.10.31
15	福岡県	(有)マキイ	森木克之	不耕起栽培の古代米を用いたこだわりパン類の開発・販売	③	H25.10.16	H29.8.31
16	福岡県	LANKA(株)	(農)e-FARM久留米 (株)シーティーシー	栄養豊かな発芽玄米等で構成された乾燥ご飯缶詰の開発・販路開拓	③	H25.10.16	H30.3.31
17	福岡県	(株)松尾農園グループ	(株)KCGJapan ウシジマ青果(有)	健康嗜好のこだわり食品「青みかんにんにく」の開発と販路開拓	①	H26.2.3	H31.4.30
18	福岡県	美容薬理(株)	あたか農園 パルセイユ(株)	地元農家の新鮮な赤しそを原材料とした低温真空抽出法による高度自然派化粧品の開発	④	H26.10.15	R1.10.31
19	福岡県	(株)利助オフィス	(有)エス・エフ・マーケット (有)アイ・アイ・ティ	濃厚ジャムなどブラウンスイス種牛乳を活かした調味用乳製品の試作開発・販路開拓	③	H27.2.2	R1.9.30
20	福岡県	富士食品(株)	(株)板垣ファーム ひろちゃんカキ	福岡・糸島の赤鶏、牡蠣、卵などの新鮮食材を有効活用した冷凍加工惣菜の開発と販路開拓	①	H27.2.2	H31.4.30

認定事業計画一覧

②

※分類は14ページ参照 平成21年6月29日認定分より分類

	都道府県	企業名(代表申請者)	共同申請者	事業名	※分類	認定日	終了日
21	福岡県	(有)ヒサシ通商	(農)KMD山川	地域限定生産の酒造好適米を高白度搗精した新商品の開発、ブランド化及び販路開拓	④	H29.10.13	R4.9.30
22	福岡県	(株)野上養鶏場	(有)高鍋商店	葉酸強化卵の生産出荷管理体制整備及び新規ブランド立上げによる新商品の開発・販路開拓	④	H29.10.13	R4.2.28
23	福岡県	(株)フジコー	(有)協同ファーム	子豚育成率向上を助ける光触媒空気浄化装置を用いた豚舎の開発、製造及び販売	⑤	H31.2.8	R6.3.31
24	福岡県	(株)高橋商店	児湯広域森林組合	香り高い宮崎産ゆずを使用した生姜ゆずシロップ、スイートチリソースの開発、販路開拓	④	H31.2.8	R5.2.28
25	佐賀県	(株)萬坊	(株)まんでん (株)長崎種苗	玄海発のふぐのコラーゲン製造・販売	/	H20.9.19	H23.9.30
26	佐賀県	玄海活魚(株)	JF呼子町	呼子イカ東京マーケット販路開拓搬送事業	④	H21.6.29	H24.3.31
27	佐賀県	佐賀冷凍食品(株)	(有)七島農産	地元産米と新鮮具材を使用した冷凍おにぎりの商品開発と販路開拓	④	H21.6.29	H26.3.31
28	佐賀県	大和酒造(株)	古川菴園 高取農園	佐賀県産イチゴ“さがほのか”の日本酒ベースリキュールの開発と需要開拓	①	H22.1.29	H26.9.30
29	長崎県	堀内商事(株)	(株)馬場長六商店 (有)フロンティアアグリカルチャーながさき	地元産ブルーベリーを活用したジャム・ソースの開発・販売	/	H20.9.19	H25.9.30
30	長崎県	(有)マルモ水産	永谷養殖 (有)ペイブレイス	九十九島牡蠣の通年供給システムの構築と販路開拓	④	H21.6.29	H26.7.31
31	長崎県	(有)対馬かまぼこ店	あさひ丸 秀徳丸 更正丸	「対州黄金あなご」加工食品の通年供給の仕組みの構築と販路開拓	④	H22.3.15	H27.3.31
32	長崎県	(株)YOKARO	増山俊幸 萩原達也	規格外野菜を活用した野菜ペーストおよび野菜のり製造販売事業	④	H25.2.4	H29.12.31
33	長崎県	(有)県央リサイクル開発	樋口賢造	パッションフルーツを使った簡易移動式グリーンカーテンの製造及び販売	④	H29.10.13	R4.5.31
34	長崎県	(株)須崎屋	(株)落水正商店	超濃厚鶏卵を使ったプレミアム五三焼カステラ開発・販売事業	③	H31.2.8	R5.6.30
35	熊本県	(株)福田農場ワイナリー	(有)鶴田有機農園 Fukuda Raiz Farm(株)	青みかんを活用した新しい柑橘商品等の開発・販売	/	H20.9.19	H25.9.30
36	熊本県	JA熊本うき	熊本製粉(株) (株)三協デリカ	国産農産物使用の「こだわりの熊本ラーメン」の開発・販売	/	H20.9.19	H24.3.31
37	熊本県	新産住拓(株)	(株)泉林業	近くの山の顔が見える森林認証材で「空気質」のきれいな「健康住宅」の商品化と市場開拓	/	H20.12.9	H25.7.31
38	熊本県	(株)千興ファーム	(株)シクロケム (有)駒城	馬油を活用した高機能性食品の開発・販売	/	H20.12.9	H25.7.31
39	熊本県	(有)木村食品	(株)アグリともあい (資)鳥丸八十七商店	緑色大豆品種「キヨミドリ」の効率的活用による豆腐・こんにゃくの新商品開発	③	H21.6.29	H25.4.30
40	熊本県	(株)ネローラ花香房	企業組合エコネットみなまた グッド・プロジェクト(株)	国産有機甘夏みかん花の蒸留水によるネロリ化粧水等の開発	④	H21.6.29	H26.6.30

認定事業計画一覧

③

※分類は14ページ参照 平成21年6月29日認定分より分類

	都道府県	企業名(代表申請者)	共同申請者	事業名	※分類	認定日	終了日
41	熊本県	(株)環境企画設計機構	青木農園	健康野菜「藤三七」の未利用葉を有効活用した新商品の開発及び販路開拓	①	H21.6.29	H26.3.31
42	熊本県	(株)阿蘇バイオテック	(有)阿蘇健康農園 (株)岩田コーポレーション JAあしきた	希少きのこ「ヤマブシタケ」の市場開拓と加工食品の開発	③	H21.10.22	H26.9.30
43	熊本県	(株)土のめぐみ	村山信一 中村司郎	有機JAS認定農産物を活用した冷凍ベビーフードの開発及び販路拡大	②	H22.1.29	H26.4.30
44	熊本県	グリーンサイエンス・マテリアル(株)	アクアスクラム(株) (有)喜泉堂	“水前寺のり”を利用した化粧品原料・化粧品の開発、製造および販売	④	H22.10.5	H27.3.31
45	熊本県	(株)マミードルチェ	(株)H. K. S. FACTORY (株)武双庵 農業生産法人(有)内田農場	阿蘇で生産される黒大豆「クロダマル」を活用した菓子等の開発、製造及び販売	③	H22.10.5	H27.3.31
46	熊本県	(有)西岡養蜂園	(株)中川パッケージ (株)蜂の郷にしおか	園芸農家のニーズに対応した短期花粉交配用ミソバパッケージの開発、製造及び販売	⑤	H24.2.3	H28.7.31
47	熊本県	熊本ネクストソサエティ(株)	(株)吉平物産 カントリージェントルマン(株) JF戸北	不知火海など熊本近海で採れる生鮮魚介類の新流通システム構築事業	⑤	H25.2.4	H29.5.31
48	熊本県	(株)緒方エッグファーム	(有)あぐり弘生 (株)木村甲佐工場 (株)キューシステム	亜麻種子由来の飼料と地元産飼料米を用いDHA・α-リノレン酸を強化した鶏卵及び加工品の開発と販路の開拓	③	H25.7.8	H29.9.30
49	熊本県	球磨プレカット(株)	(株)紅中 九州横井林業(株) 湯前木材事業(協)	新規製材法とJAS認証を活用した球磨産杉・桧製材品のブランド化事業	②	H25.10.16	H30.3.31
50	熊本県	(株)地の塩社	飯星新助 藤川精一	地這支柱法で採水した清和糸瓜水(せいわいとりのすい)の基礎化粧品の開発・販売	④	H26.2.3	H30.8.31
51	熊本県	(株)児藤商店	(有)みむら楽農	ダイコンの素材を活かした業務用食品素材の開発及び製造・販売	④	H26.2.3	H30.12.31
52	熊本県	熊本畳表(株)	畑野農園 上田農園 井戸農園	シミになりにくい撥水機能などを備えたお手入れ簡単畳表の開発と製造販売	⑤	H26.10.15	H31.3.31
53	熊本県	(株)果実堂テクノロジー	(株)SenSprout (株)果実堂	IoTの活用による自動環境制御・耐風雪圧設計の農業用高機能ハウスの開発・販売事業	⑤	H29.2.3	R4.3.31
54	熊本県	(株)環境と開発	バンブーフロンティア(株)	地理情報システム等を活用したクラウド型竹林情報管理システムの開発とサービス提供事業	⑤	H30.2.9	R5.3.31
55	熊本県	(株)オーケーブランニング	なかはた農園	イチゴ等の出荷作業を支援する最適重量ナビゲーションはかりの事業化	⑤	H30.2.9	R4.11.30
56	熊本県	(株)熊本アイディーエム	(有)中原温室	大葉の選別品質の均一化と省力化をはかる高性能自動選別システムの開発並びに製造販売	⑤	H31.2.8	R6.4.30
57	大分県	(株)おおやま夢工房	百草工房 マル金ファーム ながお梅園	大分県大山町特産のうめを活用した加工品「高級うめジュース」の開発及び販路開拓		H20.9.19	H25.9.30
58	大分県	(株)姫野一郎商店	(有)姫野食品 河原 定一	大分特産の高品質乾しいたけの加工用安定調達システムの確立と新商品開発及び需要の開拓		H20.12.9	H25.7.31
59	大分県	(株)つく実や	中野農園 工房つくみべっぴん'S(株)	みかん等柑橘類の加工品開発及び販路開拓	④	H21.6.29	H26.8.31
60	大分県	(株)クローバー食品	JAおおいた	大分県産野菜を活用した下ゆで簡便加工品の開発・販路開拓	④	H22.3.15	H24.8.31

認定事業計画一覧

④

※分類は14ページ参照 平成21年6月29日認定分より分類

	都道府県	企業名(代表申請者)	共同申請者	事業名	※分類	認定日	終了日
61	大分県	(株)ムクノ	中岩嵩 小澤香澄 大岩久和	いちじくを活用した健康志向食品の開発及び販路開拓	③	H23.9.30	H27.12.31
62	大分県	宇佐パン粉(有)	(農)農守さざれ	パン用小麦ミナミノカオリを使用した冷凍パン等の商品開発と販路開拓	③	H24.2.3	H27.8.31
63	大分県	(株)豊後大野クラスター	(有)衛藤産業農業部門	高糖度かんしょ「べにはるか」の規格外品を活用した、ペースト、パウダー等介護・医療向け食品の開発・販路開拓	①	H25.10.16	H30.6.30
64	大分県	(有)田中醤油店	葱屋おおくぼ(有)	大分県産「味ーねぎ」を使った新調味料ブランドの開発・販路開拓	④	H26.7.7	H31.2.28
65	大分県	(株)小松酒造場	永岩宏一	古来酒造米と白麹を使った、甘酸っぱくてすっきりした日本酒の開発・販路開拓	③	H27.10.14	R2.6.30
66	大分県	(有)弦本農園	(株)八紘	ねぎ外葉を使ったねぎ挟み皮等の惣菜ブランドの開発、製造及び販売	①	H29.2.3	R4.3.31
67	大分県	(株)グリーンエルム	いいもの開発販売(株)	抗菌・静菌作用に優れたユーカリ噴霧液・噴霧器の開発・販路開拓	③	R1.8.9	R6.9.30
68	宮崎県	(株)コムテック	河野 泉 ・ 黒木 和巳 黒木 生子 ・ 黒木 利通	牛の発情発見をインターネットを通じて各農家へ知らせるシステムの開発		H20.9.19	H24.12.31
69	宮崎県	(有)ハート・コーポレーション	(農)今新	規格外青果物のパウダー加工および販路開拓	①	H22.1.29	H26.5.31
70	宮崎県	(有)平和食品工業	刀根養鶏場 (株)刀根	銘柄鶏「とねどり」の低利用部位を主原料にした新商品の開発と販路開拓	①	H22.1.29	H25.2.28
71	宮崎県	(株)三共	永島林業(株)	顧客ニーズにフレキシブルに対応できる木質ペレットの生産及び販路開拓	①	H22.10.5	H25.7.31
72	宮崎県	(株)デリーマーム	竹原祐光	宮崎県産カラー人参を活用した、カラー人参チップス・業務用食材の製造・販売	③	H27.7.6	R2.5.31
73	宮崎県	宮崎ひでじビール(株)	スローライフトゥ(株)	宮崎県産ホップ、麦芽を使用したオール宮崎産ビール、発泡酒の開発・販路開拓	③	H29.2.3	R4.5.31
74	鹿児島県	(株)エヌチキン	(農)協和	廃鶏等の非食材を利用した高機能餌料基材の事業化		H20.9.19	H25.9.30
75	鹿児島県	(有)霧島高原ロイヤルポーク	(農)霧島高原純粋黒豚牧場 中崎養豚	かごしま黒豚と有機農法で生産した「有畜農産物」の販路開拓		H20.12.9	H25.4.30
76	鹿児島県	(株)さかうえ	西田 義博	飼料自給率向上に向けた「耕畜連携・地域循環型の粗飼料生産・供給システム」の開発		H20.12.9	H23.6.30
77	鹿児島県	(株)奄美大島開運酒造	(株)奄美大島宇検農産	奄美大島の地域資源(パッションフルーツとたんかん)を活用した食前酒の製造と販路開拓		H20.12.9	H25.9.30
78	鹿児島県	鮎川建設(株)	高松林業	木材(間伐材、曲がり材、端材)を原料とする木粉セーフティコーン等の安全規制材の製造販売事業		H21.2.20	H25.4.30
79	鹿児島県	(株)オキス	アネット(有)	芋麹用「乾燥サツマイモダイス」や「大隅の農産物を活用した乾燥粉末」の開発と販路開拓		H21.2.20	H24.3.31
80	鹿児島県	日本有機(株)	(株)医農さつま (有)高木生花店	鹿児島大学農学部開発「新種」トルコギキョウの生産及び販路開拓		H21.2.20	H25.2.28

	都道府県	企業名(代表申請者)	共同申請者	事業名	※分類	認定日	終了日
81	鹿児島県	北辰物流センター(株)	(株)三味一心堂	高機能性素材「シマグワ」を利用した粉末桑葉の開発と販路開拓		H21.2.20	H24.10.31
82	鹿児島県	(有)渡辺商店	(有)I・Qファーム	薩摩熟成黒にんにく「にんにくの王様」を主体としたオリジナル製品の開発と販路開拓	③	H21.6.29	H26.3.31
83	鹿児島県	(有)友創	出井 靖洋	紫芋の山芋を活用した菓子や食品素材などのオリジナル商品「紅山芋」の開発と販路開拓	③	H21.10.22	H26.6.30
84	鹿児島県	(有)善STYLE	(農)エコライフファーム	ハイク野菜栽培システムにより生産された「高糖度・完熟トマト」を使用した加工飲料の開発・販路開拓	④	H22.3.15	H25.6.30
85	鹿児島県	(株)薩摩つけもの工房	志布志有機	手の平サイズの鹿児島県産「ミニきゅうり」を浸透圧活用技術で加工した漬物の製造販売	③	H25.10.16	H30.11.30
86	鹿児島県	今村茶園	(株)福山物産	黒酢に漬けこんだ梅の実を培養土として活用した黒紅茶および黒茶の生産と販路開拓	④	H27.2.2	R1.12.31

分類

- ①規格外や低未利用品の有効活用
- ②生産履歴の明確化や減農薬栽培等による付加価値向上
- ③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大
- ④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上
- ⑤ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現
- ⑥観光とのタイアップによる販路の拡大

■活用事例

1. 株式会社フジコー（福岡県北九州市）	15
2. 佐賀冷凍食品株式会社（佐賀県小城市）	16
3. 株式会社須崎屋（長崎県南島原市）	17
4. 株式会社果実堂テクノロジー（熊本県益城町）	18
5. 株式会社熊本アイディーエム（熊本県合志市）	19
6. 株式会社豊後大野クラスター（大分県豊後大野市）	20
7. 宮崎ひでじビール株式会社（宮崎県延岡市）	21
8. 株式会社オキス（鹿児島県鹿屋市）	22



子豚育成率向上を助ける光触媒空気浄化装置を用いた豚舎の開発、製造及び販売

認定日

平成31年2月8日

類型

⑤ ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現

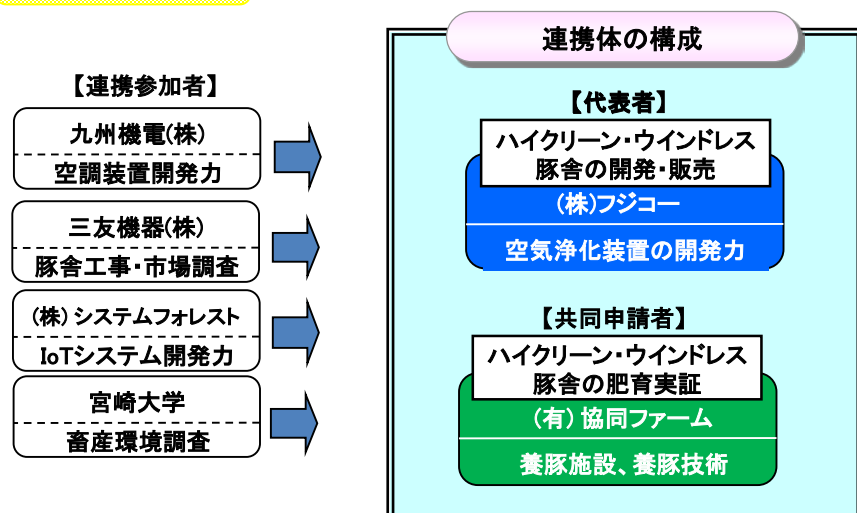
地域

福岡県北九州市

事業概要

- 養豚業向けに光触媒技術を活用した「ハイクリーン・ウインドレス豚舎」を開発、製造・販売する。
- 清潔な豚舎環境を継続的に維持し、病気にかかりやすい子豚期の育成率を向上させる。

連携体の構成



事業者の声

これまでは処分されていた子豚を救いたい！



連携参加者を含め、連携体を形成できたことで、高度な技術連携が行え、連携体内部でスムーズな展開が行えた。

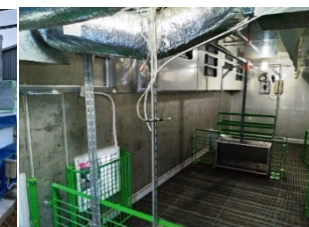
事業の成果および今後の展開

- 畜産向け大型空気浄化装置を開発し、「ハイクリーン・ウインドレス豚舎」として完成させ、協同ファームの農場内で実証試験を開始。
- 実証試験を通じて、子豚期の育成率の向上及び飼料要求率(FCR)の改善等の評価を実証予定。
- 連携した農業者において豚の出荷頭数が増加することにより、今後5年間で売上高16,000千円の増加を期待。
- 新商品「ハイクリーン・ウインドレス豚舎」は、マスコミにも取り上げられるなど、認知度が上がっている。今後、国内を中心に180,000千円(令和6年度目標)の売り上げが期待される。

【補助金活用】農商工等連携事業（令和元年度）



【ハイクリーン・ウインドレス豚舎】



【コンテナ豚舎内部】



【子豚】

株式会社フジコー

代表者：萩尾 寿明 住 所：福岡県北九州市戸畑区中原西2-18-12
電 話：093-871-3724 URL：https://www.kfjc.co.jp/
2017年4月 知財功労賞 経済産業大臣賞受賞
2018年1月 地域未来牽引企業選定
第7回ものづくり日本大賞 特別賞受賞



地元産米と新鮮具材を使用した 冷凍おにぎりの商品開発と販路開拓

認定
日

平成21年6月29日

類型

④新規用途開拓による
地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

地域

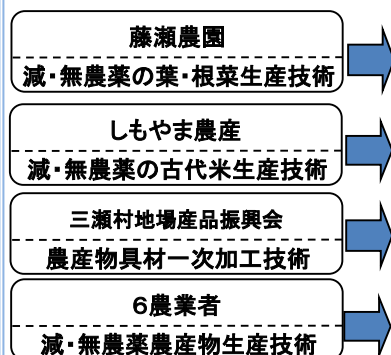
佐賀県小城市

事業概要

- 地元米や採れたて野菜を原料とした安心・安全な冷凍おにぎりを開発し、販路開拓を行う。
- 商品内容・提供の仕組みに裏付けされた高付加価値ブランドの形成を目指す。

連携体の構成

事業推進体制



連携体の構成

【代表者】

調理製造、販売

佐賀冷凍食品(株)

冷凍技術、ネットワーク

【共同申請者】

米・大豆等具材生産

(有)七島農産

穀類生産並び管理の技術、
農業者リーダーシップ力

事業者の声



㈱七島農産

・計画をたてたことで、
連携体との情報共有が
出来、自社での活動に
も役立てることが出来
た。

事業の成果および今後の展開

- 農商工等連携事業で、冷凍おにぎりを開発。その後も、新商品の開発を進め、「佐賀牛すき焼きおにぎり」として完成させた。積極的に展示会等へ出展した結果、売上高1,000万円を達成。
- 香港「シティスーパー」など海外への輸出も順調に伸びている。
- 関東方面を中心に販路開拓を行った結果、百貨店・生協・自衛隊等からの受注が増加し、製造部門にて社員5名を新たに雇用した。
- 「冷凍おにぎり」について、継続して販売・展示会出展を行った結果、冷凍食品業界の認知度が上がり、地域内の同業者も新商品開発、販路開拓等活発になるなどの波及効果がみられた。

【補助金活用】農商工等連携事業（平成21～23,25年度）
ものづくり補助金（平成30年度）
JAPANブランド育成支援事業
（平成30～令和元年度）



【佐賀牛すき焼きおにぎり】【展示会出展時の様子】【香港での販売の様子】

佐賀冷凍食品株式会社

代表者：古賀 正弘 住 所：佐賀県小城市芦刈町芦溝128-3
電 話：0952-66-4521 URL：https://kanesue-saga.jp

2017年12月 地域未来牽引企業選定

2019年 6月 はばたく中小企業300社選定



超濃厚鶏卵を使った プレミアム五三焼カステラ開発・販売事業

認定
日

平成31年2月8日

類型

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

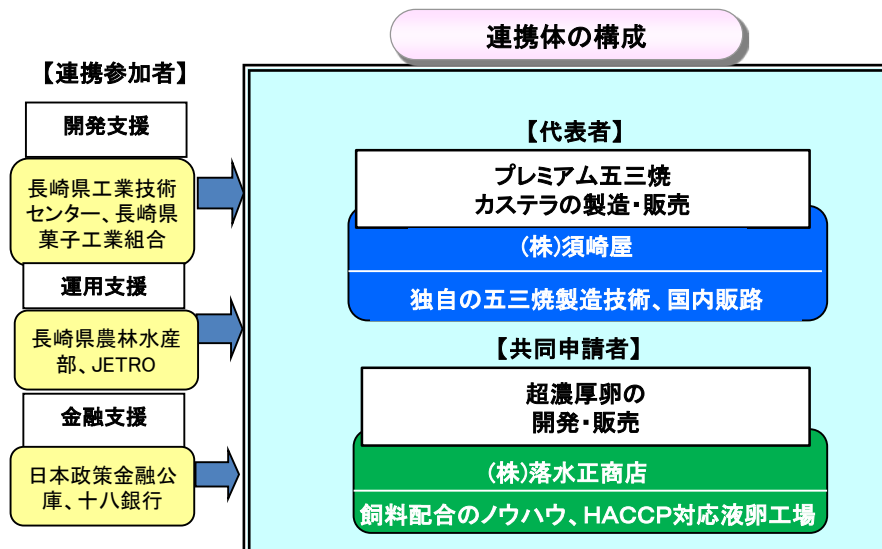
地域

長崎県南島原市

事業概要

●五三焼カステラ専用に開発する超濃厚卵を使用し、本物志向の消費者を対象に濃厚で後味がすっきりした『プレミアム五三焼カステラ』の開発、販売を目指す。

連携体の構成



事業者の声

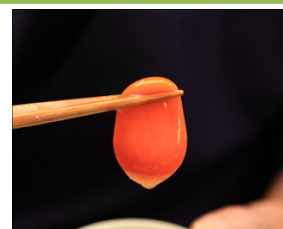
長崎カステラ
を全国へ！
世界へ！！



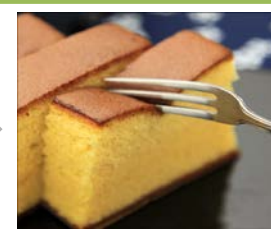
・計画をたてたことで、事業の整理、連携体との認識の共有ができ、スムーズに展開できた。
・交付金や融資が活用でき、財政部分で大いに助かった。

事業の成果および今後の展開

- 五三焼カステラ専用の超濃厚卵を開発し、新商品「プレミアム五三焼カステラ」として完成させ、積極的に展示会等へ出展した結果、1年目で7000万円の売上増加を達成。5年後に売上高を4倍とする増加計画の足がかりができた。
 - カナダ・シンガポールなど海外への輸出も令和元年10月から開始。
 - 連携した農業者においても原材料の鶏卵の売上が伸び、売上高は2000万円の増加。
 - 関東方面を中心に販路開拓を行った結果、大手商社からの受注が増加し、製造部門にて社員5名を新たに雇用。
 - テレビ・雑誌等マスコミにも多く取り上げられた結果、認知度が上がり販路開拓が活発になるなどの効果がみられた。
 - 小売店である銀座和光にて、銀座のはちみつを使用したオリジナル商品「銀座かすてら」が採用された。
- 【補助金等活用】食料産業・6次産業化交付金（令和元年度）



【超濃厚卵】



【プレミアム五三焼カステラ】

株式会社 須崎屋

代表者：代表取締役 伊藤 剛

住 所：長崎県南島原市有家町大苑84

電 話：0957-82-2855 URL：http://suzakiya.com/



I o Tの活用による自動環境制御・耐風雪圧設計 の農業用高機能ハウスの開発・販売事業

認定
日

平成29年2月3日

類型

⑤ I Tなどの新技術を活用した生産や販売の実現

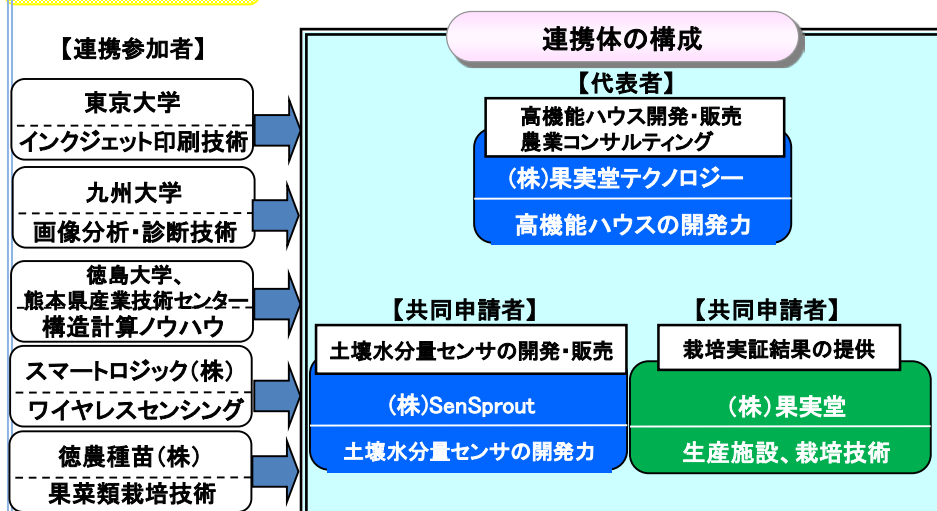
地域

熊本県益城町

事業概要

- 農業参入企業等向けに「低コスト」、「耐候性」、「環境制御」の特徴を有する高機能ハウスの開発・販売
- 導入企業に対するワンストップ農業コンサルティングサービスを提供する

連携体の構成



事業者の声



連携体の相互の技術と技術を融合し、開発を拡大させる良きプラットフォームとして活用させていただき、感謝しております。補助金の利用で開発費用の運用でも助かりました。

事業の成果および今後の展開

- 低コスト・耐候性に優れる「高機能ハウス」の開発・販売
 - 気候や土壌、作物に合せて最適な仕様を今後も調査研究を続ける。
 - 一方、販売実績は累計300棟。
 - 東大発ベンチャーSenSprout社「土壌水分センサー」×「高機能ハウス」
 - 当社の徹底した水管理と組み合わせることで土壌水分センサーを改良し、土壌の可視化、遠隔灌水システムが完成。
 - この遠隔灌水は、果実堂のベビーリーフ栽培において、ハウス40棟当たり年間1,000時間の労務負担を削減。
 - 今後も異なる土壌で試験し改良を実施していく。
 - 「農業コンサルティング」は、新規参入・既存農業法人、国内外を問わず需要が高まる。今後も拡大していく。
 - 国内にとどまらずアジア圏での事業展開を進める。
- 【補助金活用】農商工等連携事業（平成29～30年度）



高機能ハウスで高い生産性



土壌水分センサーで遠隔灌水



ベビーリーフ

株式会社果実堂テクノロジー

代表者：代表取締役 高瀬貴文

住 所：熊本県上益城郡益城町田原1155-5

電 話：096-289-8883 URL：https://www.kajitsudotech.co.jp



大葉の選別品質の均一化と省力化をはかる 高性能自動選別システムの開発並びに製造販売

認定
日

平成31年2月8日

類型

⑤ ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現

地域

熊本県合志市

事業概要

●大葉の生産農家向けに、外国人技能実習生をはじめ大葉の選別に不慣れな方でも使え、高性能画像選別システムとユーザー固有のスタイルに対する柔軟なカスタム性に優れた自動選別集積システムを開発し提供する。

連携体の構成

【連携参加者】

熊本大学
ナノミスト発生技術

熊本県産業技術センター
殺菌効果の比較

第一包装(株)
大葉生産農家とのネットワーク

連携体の構成

【代表者】

大葉自動選別システムの
開発、製造・販売
(株)熊本アイディーエム
省力化・検査機等の開発技術

【共同申請者】

開発ニーズの提供
大葉自動選別システムの検証
(有)中原温室
大葉の栽培・目視出荷選別技術

事業者の声

農家の抱える課題を革新技術で解決したい！



認定に向け連携農業者と話し合いを進める中で、農家の課題を理解することができました。今後は農業分野全体に対して様々な角度からアプローチできると考えております。

事業の成果および今後の展開

- 農商工等連携事業を活用し、パラレルリンクロボット導入、画像処理システム、連携プログラムを開発し、大葉選別機のプロトタイプを完成させた。今後は連携先の中原温室で実証を行いながら、継続的に改良及び選別システムの前後に搭載できるオプション開発（ナノミストによる表面殺菌と鮮度保持技術等）を進める。
 - 今後は、展示会出展、パンフレット・動画等販促ツール作成、DM・HP更新、大葉農家へのヒアリング調査等を実施して販路拡大を図り、5年で1億3千万円の売上を目指す。
 - 省力分労働力を収穫にまわすことによる収穫量アップと選別機能向上による高単価規格へのシフトにより、農業者の売上増加を図る。
 - 農業分野は柑橘類の包装機など5年前から取組んでおり、自治体やJAへ向けたPR活動を通して業界の認知度を高める取組みを検討中。若者の就農に大きな波及効果をもたらす事ができると考えている。
- 【補助金活用】農商工等連携事業（令和元年度）



【従来の手作業による
検査選別パッキング作業】



2020年3月：開発した大葉選別機主要機構部
【高性能画像処理とパラレルリンクの連携システム】

株式会社熊本アイディーエム

代表者：高倉 功

住所：熊本県合志市福原1-13

電話：096-349-5001

URL：<http://www.idm.ne.jp>

2018年12月 地域未来牽引企業選定



高糖度かんしょ「べにはるか」の規格外品を活用した、ペースト、パウダー等 介護・医療向け食品の開発・販路開拓

認定日

平成25年10月16日

類型

①規格外や低未利用品の有効活用

地域

大分県豊後大野市

事業概要

- 高糖度のかんしょ「べにはるか」の規格外品を加工して、栄養・機能性を高めた介護・医療向け食品を開発する。
- 糖分と食品添加物を加えず加工し、美味しくて栄養豊かな介護・医療食として、かんしょの加工品を提供するもの

連携体の構成

【連携参加者】

大分県農業協同組合
豊後大野事業部

生産補完、
生産・販売等助言



連携体の構成

【代表者】

加工・開発・販売

(株)豊後大野クラスター

農産加工設備、ノウハウ

【共同申請者】

加工用貯蔵・保管・記録

(有)衛藤産業 農業部門

かんしょ生産・貯蔵ノウハウ

事業者の声



農商工連携事業を活用する事により、地域の農業生産者の課題であった規格外野菜の商品化ができました。さらに展示会への出展など商品開発から販売促進まで多くのことを学ぶことができました。

事業の成果および今後の展開

- 農商工連携の事業を活用することにより商品開発力が付き、展示会、商談会に対応できるようになった。
 - こだわりの商品を扱うセレクトショップ「カルディ」「北野エス」から受注を頂くようになった。今後は受注量を増やせるよう販売促進に努めたい。
 - 子育て世代を1名雇用。今後も子育て世代を含め全従業員が地元で働きやすい環境を整えたい。今期は賃金アップを予定。
 - 規格外の甘藷の干し芋、ペーストに加えて「Aおおい」からの依頼で大分のブランドである「甘太くん」の規格外甘藷の冷凍焼き芋加工を行っている。昨年HACCPを取得。
 - 異常気象による過剰生産野菜を抱えて困っている生産者の声を聞くことが多かった。農商工連携事業のノウハウを生かして、規格内野菜を活用した商品開発にも取り組みたいと考えている。
- 【補助金活用】農商工等連携事業（平成25年度～29年度）
ものづくり補助金（平成30年度）



【皮付き干し芋(ちよび)】



【さつまいもペースト】

株式会社 豊後大野クラスター

代表者：後藤 龍彦

住 所：大分県豊後大野市三重町宮野4845

電 話：0974-22-0772

URL：http://b-cluster.jp



宮崎県産ホップ、麦芽を使用した オール宮崎産ビール、発泡酒の開発・販路開拓

認定
日

平成29年2月3日

類型

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

地域

宮崎県延岡市

事業概要

- 地元産のホップと麦芽、特産のフルーツ等を使用したオール宮崎産のビール、及び発泡酒を開発、販路開拓する。
- オール宮崎産とするため、新たにホップを生産する農家を募集。ハーブ農家の協力を得て、宮崎での栽培技術の確立を目指す。

連携体の構成

【連携参加者】

農事組合法人はなどう
大麦の栽培、供給

霧立山地・ごかせ農園
ホップの栽培、供給

連携体の構成

【代表者】

オール宮崎産ビール、発泡
酒の開発、製造、販路開拓
宮崎ひでじビール(株)
クラフトビール製造技術

【共同申請者】

ホップ、大麦の栽培、供給
スローライフトゥ(株)
ホップの栽培技術

事業者の声



・第三者目線で事業計画の評価を受ける事で、実現可能性が格段に向上した。
・生産拡大に伴い設備投資が必要になったが、補助金を活用する事でリスクを軽減出来た。

事業の成果および今後の展開

- 令和元年に新商品「九州CRAFT」シリーズを完成させ、令和元年6月～12月までの7か月間で新商品売上高5,800万円を達成。
 - 既存販路に加え、麒麟ビールの業務用PET容器生ビールサーバーシステム「タップマルシェ」を中心に販売数量を拡大。
 - 今後は、関東圏のみならず、九州圏内市場、シンガポール等海外市場にも販路を拡大し、計画終了の令和4年5月期において年間1億円の新品売上高を達成する見込み。
 - 連携農業者はホップに加え新たに大麦の栽培を開始し、原材料としての売上は計画終了時点において230万円になる見込み。
 - 急激な販売量増加に伴い、ビール生産能力が追い付いておらず、令和2年度に加工場を新設する。その結果、新商品は180KL（売り上げ換算約1億円）まで増産可能となる。
- 【補助金活用】農商工等連携事業（平成30年度）
食料産業・6次産業化交付金（令和2年度）申請中



【ホップ畑】



【新商品：九州CRAFT】

宮崎ひでじビール株式会社

代表者：永野 時彦 住 所：宮崎県延岡市行滕町747-58

電 話：0982-39-0090 URL：<https://hideji-beer.jp/>

2017年12月 地域未来牽引企業選定

2018年2月 地域経済牽引事業計画承認



芋麴用「乾燥サツマイモダイス」や「大隅の農産物を活用した乾燥粉末」の開発と販路開拓

認定日

平成21年2月20日

類型

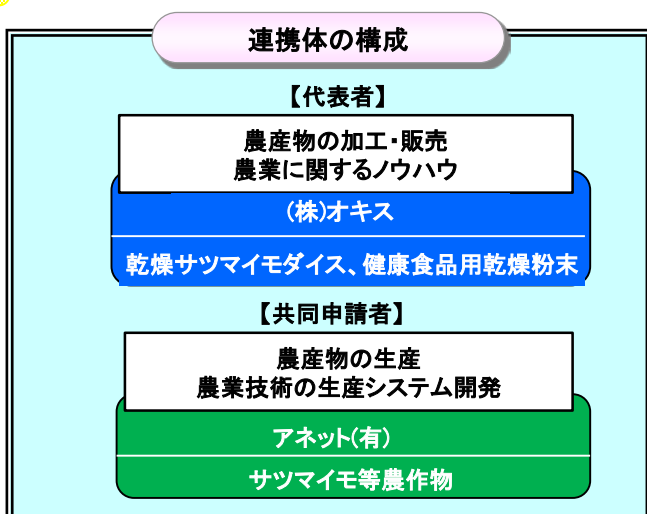
地域

鹿児島県鹿屋市

事業概要

- より風味の出る新たなサツマイモの品種の導入による「乾燥サツマイモダイス」の品質向上と販路開拓を行う。
- 乾燥加工技術を活かし、スイオウやゴマ、しいたけなど大隅の農産物を活用して、健康食品用の乾燥粉末素材を開発する。

連携体の構成



事業者の声



・認定を受けたことで、営業展開で有利になり、大手メーカーとの契約にもつながった。
また、補助金や融資がスムーズに活用できるようになり財政部分で助かった。

事業の成果および今後の展開

- 鹿児島県の酒造メーカーと工業技術センターがサツマイモダイスを活用した芋麴を開発したが、サツマイモダイスを大量製造できる工場がなかった。弊社がサツマイモダイスの量産化に成功し、酒造メーカーに提供することで、サツマイモを100%活用した芋焼酎が製造できるようになった。
 - サツマイモダイスの製造をきっかけに、大隅産農産物を活用した乾燥野菜粉末の可能性に着目。「ほうれん草パウダー」等を開発し、関東方面を中心に販路開拓を行った結果、大手食品メーカーとの取引が開始した。
 - 大隅産野菜の更なる活用法として、海外展開に着目。乾燥野菜と調味料を組合わせて、食べ方の提案をすることで海外展開を加速化させる。2020年10月野菜パウダーの殺菌ができる生産設備を新設予定。FSSC認証取得予定。
- 【補助金活用】農商工等連携事業（平成21,23年度）



【加工工場】



【サツマイモダイス】



【ほうれん草パウダー】

株式会社オキス

代表者：岡本 孝志 住 所：鹿児島県鹿屋市下高隈町5454-11

電 話：0994-45-2508 URL：<https://okisu.co.jp/>

2015年7月 南日本経済賞受賞

2020年1月 6次産業化アワード奨励賞受賞

■ 関連情報

九州経済産業局	https://www.kyushu.meti.go.jp/
中小企業庁	https://www.chusho.meti.go.jp/
特許庁	https://www.jpo.go.jp/index.html
独立行政法人 中小企業基盤整備機構	https://www.smrj.go.jp/
J-Net21 (中小企業ビジネス支援サイト) 認定事業計画検索	https://j-net21.smrj.go.jp/ https://j-net21.smrj.go.jp/expand/chiikik_search/cgi-bin/search.cgi
ミラサポ	https://www.mirasapo.jp/
JETRO	https://www.jetro.go.jp/

農商工等連携事業事例集

令和2年3月発行

発行者：経済産業省 九州経済産業局
産業部 農林水産業成長産業化支援室

連絡先：〒812-8546
福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号
福岡合同庁舎7階
TEL 092-482-5540

